



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社オーハシテクニカ 上場取引所 東
 コード番号 7628 URL https://www.ohashi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴崎 衛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業推進部長 (氏名) 中村 佳二 (TEL) 03-5404-4420
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	29,782	△17.1	2,105	△35.5	2,281	△32.9	1,540	△37.4
2020年3月期	35,905	△9.0	3,265	△19.9	3,401	△18.9	2,460	△16.8

(注) 包括利益 2021年3月期 1,237百万円(△38.7%) 2020年3月期 2,019百万円(△9.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	106.10	—	4.9	5.4	7.1
2020年3月期	166.87	—	8.0	8.1	9.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 22百万円 2020年3月期 38百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	42,138	31,672	74.2	2,198.01
2020年3月期	42,360	31,925	74.4	2,136.23

(参考) 自己資本 2021年3月期 31,266百万円 2020年3月期 31,500百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,122	△794	△1,469	21,361
2020年3月期	3,297	△544	△845	21,843

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00	767	31.2	2.5
2021年3月期	—	20.00	—	32.00	52.00	747	49.0	2.4
2022年3月期(予想)	—	26.00	—	31.00	57.00		40.4	

(注) 2022年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当26円00銭 70周年記念配当5円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	36,000	20.9	2,700	28.2	2,900	27.1	2,000	29.9	141.20

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	14,759,080株	2020年3月期	16,240,040株
2021年3月期	534,274株	2020年3月期	1,494,346株
2021年3月期	14,515,844株	2020年3月期	14,746,119株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	17,563	△16.1	1,253	△30.2	1,634	△39.3	1,191	△45.2
2020年3月期	20,926	△9.0	1,795	△9.0	2,692	△9.6	2,172	△2.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	82.00		—					
2020年3月期	147.22		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	30,290		22,317		73.7		1,567.33	
2020年3月期	30,218		22,371		74.0		1,515.78	

(参考) 自己資本 2021年3月期 22,317百万円 2020年3月期 22,371百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手について)

決算説明会資料については、2021年5月13日に当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	12
(連結貸借対照表関係)	12
(連結損益計算書関係)	13
(連結株主資本等変動計算書関係)	15
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	16
(セグメント情報等)	17
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済及びわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出規制、休業要請等で経済活動が厳しく制限され、第2四半期までは各地域で景気の悪化が継続しました。その間、各国とも感染症拡大の抑制と経済活動の両立に向けた政策を実行し、中国ではいち早く景気の回復がみられ、その他の地域においても景気は底打ちし、第3四半期以降、各国の景気は回復基調にありました。しかしながら、一部の国、地域では感染症の再拡大が進み、再度、緊急事態宣言やロックダウンが実施される事態となり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業分野であります自動車業界におきましては、海外（当社会計期間2020年1月1日～2020年12月31日）では、第2四半期より中国での生産台数の急回復がみられたものの、その他の地域で新型コロナウイルス感染症拡大に伴う主要メーカーの操業停止が本格化し、生産台数は大幅に減少しました。その後、各国政府の政策が下支えとなり、第3四半期以降の生産台数は前年を上回る水準まで持ち直しましたが、当連結会計年度の海外生産台数は第2四半期までの落込みの影響が大きく、前年実績を下回る結果となりました。また、国内（当社会計期間2020年4月1日～2021年3月31日）では、主要得意先メーカーの生産台数は第1四半期を底に回復に転じており、第3四半期以降はほぼ前年並みの水準まで回復していますが、期初からの操業停止と需要の低迷に伴う生産台数の減少の影響が大きく、当連結会計年度の国内生産台数は海外同様、前年実績を下回っています。

このような状況下、当社グループでは事業基盤の強化と経費削減等による経営の効率化に努めてまいりましたが、連結売上高は第2四半期までの主要得意先メーカー各社の操業停止と、需要の低迷に伴う生産台数の減少の影響が大きく、前年比減収となりました。また、連結営業利益も各地域における第2四半期までの売上減少の影響が大きく、前年比減益となりました。

当連結会計年度の売上高は29,782百万円(前年同期比17.1%減)、営業利益は2,105百万円(同35.5%減)、経常利益は2,281百万円(同32.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,540百万円(同37.4%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。(セグメント売上高は、外部顧客に対するものであり、セグメント利益は、当期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。)

[日本]

当連結会計年度は第3四半期以降、それまでの急激な売上減少から持ち直したものの、期初からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴う主要得意先メーカーの一時的な操業停止、その後の需要の低迷に伴う生産減少の影響が大きく、売上高は16,221百万円(前年同期比19.3%減)となりました。セグメント利益は売上減少の影響により、1,011百万円(同41.6%減)となりました。

[米州]

政府の経済対策と活動制限緩和、それに伴う自動車生産の回復によって、第3四半期以降の売上高は前年を上回る水準まで回復しました。しかしながら第2四半期の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う主要得意先メーカーでの操業停止や市場の冷え込みによる販売減少によって、売上高は6,235百万円(同15.8%減)となりました。セグメント利益は売上減少の影響により、429百万円(同29.0%減)となりました。

[中国]

2月から3月にかけて主要都市がロックダウンとなり、主要得意先メーカーが操業停止となったことから、売上高は大きく落込みましたが、5月からは前年を上回る水準で生産が急回復し、当連結会計年度は前年を上回る業績となりました。売上高は4,476百万円(同4.0%増)、セグメント利益は第2四半期からの生産台数の回復により、569百万円(同14.4%増)となりました。

[アセアン]

昨年度後半からのアセアン経済の不振と新型コロナウイルス感染症拡大の影響が重なり、自動車販売が低迷しました。市場回復も遅れ、期を通して主要得意先メーカーでの生産減少が続いたことから、売上高は2,003百万円(同28.5%減)となりました。セグメント利益は売上減少の影響が大きく、181百万円(同54.2%減)となりました。

[欧州]

昨年度前半からの販売台数の低迷に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が重なり、主要得意先メーカーにおいて大幅な生産減少となりました。これにより、売上高は846百万円(同34.8%減)となりました。セグメント損失は、売上減少、ポンド安に伴う輸入品仕入コストの上昇、拠点統合費用等により、82百万円(前年同期はセグメント損失79百万円)となりました。

[台湾]

台湾大橋精密股份有限公司は、グループ間取引のみのため、外部顧客への売上高はありません。グループ会社

向けの輸出が減少し、売上高は減少しました。これに伴い、セグメント利益は20百万円(前年同期比52.4%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産の残高は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末比222百万円減少し、42,138百万円となりました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金や電子記録債務の増加等により、前連結会計年度末比30百万円増加し、10,465百万円となりました。

純資産の残高は、その他有価証券評価差額金の増加がありましたが、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末比252百万円減少し、31,672百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ481百万円減少し、21,361百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、2,122百万円の資金の増加(前連結会計年度は3,297百万円の増加)となりました。

これは主に、法人税等の支払額が875百万円ありましたが、税金等調整前当期純利益を2,297百万円計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、794百万円の資金の減少(前連結会計年度は544百万円の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得788百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、1,469百万円の資金の減少(前連結会計年度は845百万円の減少)となりました。

これは主に、自己株式の取得795百万円、配当金の支払675百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第66期 2018年3月期	第67期 2019年3月期	第68期 2020年3月期	第69期 2021年3月期
自己資本比率(%)	70.9	72.2	74.4	74.2
時価ベースの自己資本比率(%)	63.3	49.0	46.4	53.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	0.3	0.2	7.0	13.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	10,052.5	—	554.9	262.2

※自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。
4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。
5. 第67期のインタレスト・カバレッジ・レシオは、利払いがないため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の世界経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、各国、各地域におけるワクチン接種の普及や、中国と米国の経済成長が下支えし、徐々に正常化することが期待されます。

また、自動車業界におきましては、引き続き堅調な需要に支えられ、緩やかに拡大していくことが見込まれるものの、新型コロナウイルスの影響に加え、世界的な半導体不足の問題等も顕在化しており、今後も不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況下、次期連結業績につきましては、売上高は36,000百万円(前連結会計年度比20.9%増)、営業利益は2,700百万円(同28.2%増)、経常利益は2,900百万円(同27.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は

2,000百万円(同29.9%増)を予想しております。

なお、前提となる主要通貨の為替レートにつきましては、1米ドル=106.00円、1中国元=16.00円、1タイバーツ=3.50円、1英ポンド=145.00円で予測しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社では、中長期的に企業価値を高め、株主の皆様へ利益を還元していくことを重要な経営課題の一つと位置付けております。

当連結会計年度の期末配当金につきましては、上記の方針に則り、当期の業績、今後の業績動向、財務基盤等を総合的に勘案し、1株につき32円とさせていただきます予定です。その結果、年間では昨年12月の中間配当金20円と合わせ、1株につき52円となります。

次期(2022年3月期)の配当金につきましては、1株当たりの普通配当金を52円(中間配当金26円、期末配当金26円)とし、創業70周年記念の期末配当金1株当たり5円を加え、年間配当金57円(前期比5円増配)を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,843,866	21,361,928
受取手形及び売掛金	6,798,745	7,036,480
商品及び製品	3,962,537	3,871,528
仕掛品	472,936	412,077
原材料及び貯蔵品	539,537	585,777
その他	349,452	529,277
貸倒引当金	△8,387	△8,328
流動資産合計	33,958,686	33,788,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,858,865	4,925,795
減価償却累計額	△2,270,626	△2,419,602
建物及び構築物(純額)	2,588,238	2,506,193
機械装置及び運搬具	7,600,198	7,674,706
減価償却累計額	△6,552,885	△6,590,403
機械装置及び運搬具(純額)	1,047,313	1,084,303
工具、器具及び備品	3,537,537	3,518,631
減価償却累計額	△3,138,166	△3,157,615
工具、器具及び備品(純額)	399,371	361,015
土地	1,411,690	1,387,496
建設仮勘定	518,772	391,354
有形固定資産合計	5,965,385	5,730,362
無形固定資産		
ソフトウェア	197,345	165,579
その他	49,500	48,766
無形固定資産合計	246,845	214,346
投資その他の資産		
投資有価証券	1,381,026	1,700,377
繰延税金資産	286,891	218,807
その他	524,120	487,625
貸倒引当金	△2,497	△2,200
投資その他の資産合計	2,189,541	2,404,609
固定資産合計	8,401,772	8,349,318
資産合計	42,360,458	42,138,059

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,914,965	3,075,600
電子記録債務	5,185,536	5,247,818
未払法人税等	416,486	274,345
賞与引当金	195,224	187,662
役員賞与引当金	31,200	27,100
短期借入金	—	※2 65,329
その他	862,885	744,503
流動負債合計	9,606,298	9,622,359
固定負債		
長期借入金	—	※2 43,552
繰延税金負債	7	—
退職給付に係る負債	607,760	619,069
その他	221,164	180,815
固定負債合計	828,932	843,437
負債合計	10,435,230	10,465,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,825,671	1,825,671
資本剰余金	1,622,030	1,611,240
利益剰余金	28,954,967	28,338,005
自己株式	△1,507,804	△811,559
株主資本合計	30,894,864	30,963,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,201	328,397
為替換算調整勘定	457,992	△59,449
退職給付に係る調整累計額	43,180	33,978
その他の包括利益累計額合計	605,374	302,925
非支配株主持分	424,989	405,979
純資産合計	31,925,228	31,672,261
負債純資産合計	42,360,458	42,138,059

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	35,905,452	29,782,276
売上原価	※6 27,257,185	※6 22,808,145
売上総利益	8,648,267	6,974,130
販売費及び一般管理費	※1, ※2 5,382,328	※1, ※2 4,868,531
営業利益	3,265,938	2,105,599
営業外収益		
受取利息	68,196	55,879
受取配当金	44,303	38,347
持分法による投資利益	38,177	22,242
作業くず売却益	36,241	35,012
補助金収入	32,407	122,440
その他	30,308	19,545
営業外収益合計	249,633	293,468
営業外費用		
支払利息	5,942	8,096
為替差損	52,962	48,146
開業費	52,537	47,894
その他	2,842	12,946
営業外費用合計	114,284	117,084
経常利益	3,401,287	2,281,983
特別利益		
固定資産売却益	※3 3,306	※3 674
投資有価証券売却益	125,071	17,334
補助金収入	66,200	—
特別利益合計	194,578	18,009
特別損失		
固定資産売却損	※4 2,267	※4 492
固定資産除却損	※5 6,507	※5 1,619
投資有価証券評価損	649	—
事業所移転費用	※7, ※8 85,307	—
その他	1	—
特別損失合計	94,733	2,112
税金等調整前当期純利益	3,501,132	2,297,880
法人税、住民税及び事業税	1,071,009	771,691
法人税等調整額	△50,266	△22,500
法人税等合計	1,020,743	749,190
当期純利益	2,480,389	1,548,690
非支配株主に帰属する当期純利益	19,645	8,585
親会社株主に帰属する当期純利益	2,460,743	1,540,104

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	2,480,389	1,548,690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△416,228	224,672
為替換算調整勘定	△45,108	△526,437
退職給付に係る調整額	757	△9,202
持分法適用会社に対する持分相当額	△593	△476
その他の包括利益合計	△461,173	△311,444
包括利益	2,019,216	1,237,245
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,996,142	1,237,655
非支配株主に係る包括利益	23,073	△409

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,825,671	1,622,030	27,254,263	△1,506,012	29,195,952
会計方針の変更による累積的影響額			△7,325		△7,325
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,825,671	1,622,030	27,246,937	△1,506,012	29,188,627
当期変動額					
剰余金の配当			△752,714		△752,714
親会社株主に帰属する当期純利益			2,460,743		2,460,743
自己株式の取得				△1,792	△1,792
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,708,029	△1,792	1,706,237
当期末残高	1,825,671	1,622,030	28,954,967	△1,507,804	30,894,864

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	521,023	506,529	42,422	1,069,976	415,585	30,681,514
会計方針の変更による累積的影響額						△7,325
会計方針の変更を反映した当期首残高	521,023	506,529	42,422	1,069,976	415,585	30,674,188
当期変動額						
剰余金の配当						△752,714
親会社株主に帰属する当期純利益						2,460,743
自己株式の取得						△1,792
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△416,822	△48,536	757	△464,601	9,404	△455,197
当期変動額合計	△416,822	△48,536	757	△464,601	9,404	1,251,039
当期末残高	104,201	457,992	43,180	605,374	424,989	31,925,228

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,825,671	1,622,030	28,954,967	△1,507,804	30,894,864
当期変動額					
剰余金の配当			△675,165		△675,165
親会社株主に帰属する当期純利益			1,540,104		1,540,104
自己株式の取得				△796,445	△796,445
自己株式の消却		△10,790	△1,481,900	1,492,690	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△10,790	△616,961	696,244	68,492
当期末残高	1,825,671	1,611,240	28,338,005	△811,559	30,963,356

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	104,201	457,992	43,180	605,374	424,989	31,925,228
当期変動額						
剰余金の配当						△675,165
親会社株主に帰属する当期純利益						1,540,104
自己株式の取得						△796,445
自己株式の消却						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	224,195	△517,442	△9,202	△302,449	△19,010	△321,459
当期変動額合計	224,195	△517,442	△9,202	△302,449	△19,010	△252,967
当期末残高	328,397	△59,449	33,978	302,925	405,979	31,672,261

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,501,132	2,297,880
減価償却費	895,865	892,590
賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,247	△6,941
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,300	△4,100
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△580	57
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	34,803	126
受取利息及び受取配当金	△112,499	△94,227
補助金収入	△98,607	△122,440
支払利息	5,942	8,096
持分法による投資損益(△は益)	△38,177	△22,242
固定資産売却損益(△は益)	△1,039	△181
固定資産除却損	6,507	1,619
投資有価証券売却損益(△は益)	△125,070	△17,334
投資有価証券評価損益(△は益)	649	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,198,965	△264,915
たな卸資産の増減額(△は増加)	△139,434	△9,001
仕入債務の増減額(△は減少)	△963,142	234,448
その他投資の増減額(△は増加)	49,322	35,319
その他	41,656	△282,319
小計	4,190,747	2,646,433
利息及び配当金の受取額	112,725	94,187
利息の支払額	△5,942	△8,096
補助金の受取額	144,473	266,111
法人税等の支払額	△1,144,887	△875,672
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,297,116	2,122,963
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△827,040	△788,378
有形固定資産の売却による収入	9,178	2,916
無形固定資産の取得による支出	△34,650	△37,639
投資有価証券の取得による支出	△8,634	△9,148
投資有価証券の売却による収入	200,553	36,424
保険積立金の解約による収入	114,695	—
貸付けによる支出	△2,811	△1,780
貸付金の回収による収入	4,468	2,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	△544,241	△794,935
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	44,949
リース債務の返済による支出	△79,281	△90,803
自己株式の取得による支出	△58	△795,281
配当金の支払額	△752,714	△675,165
短期借入金純増減額(△は減少)	—	65,329
非支配株主への配当金の支払額	△13,669	△18,601
財務活動によるキャッシュ・フロー	△845,724	△1,469,573
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32,466	△340,393
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,874,684	△481,938
現金及び現金同等物の期首残高	19,969,181	21,843,866
現金及び現金同等物の期末残高	※ 21,843,866	※ 21,361,928

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 14社

連結子会社の名称

オーハシ技研工業(株)

(株)オーハシロジスティクス

OHASHI TECHNICA U. S. A. , INC.

OHASHI TECHNICA U. S. A. MANUFACTURING, INC.

OHASHI NAKAHYO U. S. A. , INC.

OHASHI TECHNICA MEXICO, S. A. DE C. V.

大橋精密件(上海)有限公司

大橋精密件制造(広州)有限公司

広州大中精密件有限公司

大橋精密電子(上海)有限公司

OHASHI TECHNICA (THAILAND) CO. , LTD.

OHASHI SATO (THAILAND) CO. , LTD.

OHASHI TECHNICA UK, LTD.

台湾大橋精密股份有限公司

(2) 主要な非連結子会社の名称等

非連結子会社はありません。

2. 持分法の適用に関する事項

持分法適用の関連会社の数 2社

持分法適用の関連会社の名称

(株)テーケー

(株)ナカヒョウ

なお、上記以外は、最近の有価証券報告書(2020年6月25日提出)における記載から重要な変更がないため開示を省略しております。

(連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関からの借入に対して、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
(株)テーケー	280,634千円	238,730千円

※2. 短期借入金及び長期借入金(新型コロナウイルス感染症に係る米国雇用保護政策関連)

当連結会計年度末の短期及び長期借入金は、米国子会社であるOHASHI TECHNICA U. S. A. , INC. が米国のPaycheck Protection Program(給与保護プログラム)を申請し、支給された資金であります。なお、借入金として表示しておりますが、雇用保護を目的とする従業員給与の支払等、指定された条件を満たす用途に使用した場合、返済が免除されるものであります。

(連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
荷造運賃	649,582千円	605,100千円
給与手当	1,910,420	1,840,888
賞与引当金繰入額	153,536	157,027
役員賞与引当金繰入額	31,200	27,100
退職給付費用	56,743	56,667

※2 研究開発費の総額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
一般管理費	40,695千円	52,108千円

※3 固定資産売却益の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
機械装置及び運搬具	3,217千円	28千円
工具、器具及び備品	35	645
ソフトウェア	54	—
計	3,306	674

※4 固定資産売却損の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
機械装置及び運搬具	2,267千円	492千円
計	2,267	492

※5 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
建物及び構築物	3,440千円	239千円
機械装置及び運搬具	655	707
工具、器具及び備品	2,410	639
ソフトウェア	—	33
計	6,507	1,619

※6 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次のたな卸資産評価損(△は戻入益)が売上原価に含まれております。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
	△7,211千円	2,762千円

※7 事業所移転費用

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社の英国連結子会社であるOHASHI TECHNICA UK, LTD.の事業所移転に関連し、今後使用見込みがなくなったリース資産の帳簿価額を回収可能額まで減額したことに伴う費用40,274千円が含まれております。

また、当社の国内連結子会社であるオーハシ技研工業株式会社の仙台工場を鈴鹿工場に移転統合することに伴う費用45,032千円も含まれております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

※8 減損損失

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

用途	場所	種類	金額(千円)
事業用資産	欧州(OHASHI TECHNICA UK, LTD.)	建物等	40,274

当社グループは、事業用資産について、概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位ごとに資産のグルーピングを行っております。

事業用資産につきましては、当社の英国連結子会社であるOHASHI TECHNICA UK, LTD.の事業所移転に関連し、今後使用見込みがなくなったリース資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、減損損失を認識しております。

なお、当該事業用資産の回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、移転後においては将来キャッシュ・フローが生じる見込みがないことから、零としております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首 株式数 (株)	当連結会計年度 増加株式数 (株)	当連結会計年度 減少株式数 (株)	当連結会計年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	16,240,040	—	—	16,240,040
合計	16,240,040	—	—	16,240,040
自己株式				
普通株式	1,493,519	827	—	1,494,346
合計	1,493,519	827	—	1,494,346

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加827株は、持分法適用会社である株式会社テーケーが取得した自己株式(当社株式)の当社帰属分の増加164株、持分法適用会社である株式会社ナカヒョウが取得した自己株式(当社株式)の当社帰属分の増加623株、単元未満株式の買取りによる増加40株であります。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	368,978	25	2019年3月31日	2019年6月26日
2019年11月6日 取締役会	普通株式	383,736	26	2019年9月30日	2019年12月3日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年6月25日 定時株主総会	普通株式	383,736	利益剰余金	26	2020年3月31日	2020年6月26日

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首 株式数 (株)	当連結会計年度 増加株式数 (株)	当連結会計年度 減少株式数 (株)	当連結会計年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	16,240,040	—	1,480,960	14,759,080
合計	16,240,040	—	1,480,960	14,759,080
自己株式				
普通株式	1,494,346	520,888	1,480,960	534,274
合計	1,494,346	520,888	1,480,960	534,274

- (注) 1. 普通株式の発行済株式及び自己株式の株式数の減少
2020年5月15日の取締役会決議による自己株式の消却 1,480,960株
2. 普通株式の自己株式の株式数の増加520,888株の内訳
2020年5月15日の取締役会決議による自己株式の取得 187,600株
2020年11月11日の臨時取締役会決議による自己株式の取得 200,000株
2021年2月9日の取締役会決議による自己株式の取得 132,400株
持分法適用会社である株式会社テーケーが取得した自己株式(当社株式)の
当社帰属分の増加 166株
持分法適用会社である株式会社ナカヒョウが取得した自己株式(当社株式)の
当社帰属分の増加 602株
単元未満株式の買取りによる増加 120株

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2020年6月25日 定時株主総会	普通株式	383,736	26	2020年3月31日	2020年6月26日
2020年11月10日 取締役会	普通株式	291,429	20	2020年9月30日	2020年12月8日

- (2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの
次のとおり決議を予定しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年6月25日 定時株主総会	普通株式	455,646	利益剰余金	32	2021年3月31日	2021年6月28日

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
現金及び預金勘定	21,843,866千円	21,361,928千円
預入期間が3か月を超える定期 預金	—	—
現金及び現金同等物	21,843,866	21,361,928

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、グローバルサプライヤーとして主に自動車部品等の開発、製造並びに販売を行っております。国内においては当社と子会社並びに関連会社が、海外においては米州(米国、メキシコ)、中国、アセアン(タイ)、欧州(英国)、台湾の各現地法人が、各々の地域毎に事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは製造・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米州」、「中国」、「アセアン」、「欧州」、「台湾」の6つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アセアン	欧州	台湾	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	20,093,332	7,406,116	4,305,433	2,803,125	1,297,445	—	35,905,452	—	35,905,452
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,795,357	2,168	93,567	49,589	—	953,331	3,894,014	△3,894,014	—
計	22,888,689	7,408,284	4,399,000	2,852,715	1,297,445	953,331	39,799,467	△3,894,014	35,905,452
セグメント利益又は 損失(△)	1,732,945	605,579	497,849	395,816	△79,635	43,662	3,196,218	69,720	3,265,938
セグメント資産	33,217,737	8,060,976	5,417,983	3,649,267	1,155,640	386,405	51,888,012	△9,527,553	42,360,458
その他の項目									
減価償却費	504,031	155,364	126,938	75,087	32,502	2,752	896,677	△811	895,865
持分法適用 会社への 投資額	265,897	—	—	—	—	—	265,897	—	265,897
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	474,224	179,405	307,829	175,995	208,305	3,474	1,349,235	—	1,349,235

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額69,720千円には、セグメント間取引消去4,318千円、たな卸資産の調整額65,402千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△9,527,553千円には、セグメント間取引消去△9,196,898千円、たな卸資産の調整額△408,868千円及びその他の調整額78,214千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アセアン	欧州	台湾	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	16,221,597	6,235,260	4,476,249	2,003,100	846,067	—	29,782,276	—	29,782,276
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,718,675	1,866	92,153	32,170	890	708,803	3,554,561	△3,554,561	—
計	18,940,273	6,237,127	4,568,403	2,035,271	846,958	708,803	33,336,837	△3,554,561	29,782,276
セグメント利益又は 損失(△)	1,011,527	429,702	569,587	181,257	△82,368	20,803	2,130,510	△24,910	2,105,599
セグメント資産	33,001,269	7,929,478	5,936,268	3,419,298	968,419	371,227	51,625,960	△9,487,901	42,138,059
その他の項目									
減価償却費	494,183	149,575	131,247	86,917	28,319	3,159	893,402	△811	892,590
持分法適用 会社への 投資額	284,196	—	—	—	—	—	284,196	—	284,196
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	428,907	134,158	132,171	112,265	5,622	2,839	815,965	—	815,965

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△24,910千円には、セグメント間取引消去3,239千円、たな卸資産の調整額△28,150千円が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額△9,487,901千円には、セグメント間取引消去△9,150,581千円、たな卸資産の調整額△437,019千円及びその他の調整額99,699千円が含まれております。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,136円23銭	2,198円01銭
1株当たり当期純利益金額	166円87銭	106円10銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	2,460,743	1,540,104
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	2,460,743	1,540,104
期中平均株式数(株)	14,746,119	14,515,844

(重要な後発事象)

該当事項はありません。